

## 第23回とちぎリハビリテーションフォーラム 開催要項

テーマ：「認知症 ～自分のため家族のために知ってほしいこと～」

趣旨：日本における65歳以上の認知症の方の数は約600万人(2020年)と推計され、2025年には約700万人が認知症になると予測されている。2019年に厚生労働省から「認知症施策推進大綱」が示された。

「認知症施策推進大綱」に示されている方針は、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し認知症の方や家族の視点を重視しながら共生と予防を車の車輪としていくことである。

このような背景を踏まえ、認知症の発症を遅らせること、認知症になっても希望を持ち生活を過ごせる社会を築くために地域において連携を図ることが必要不可欠である。

今回は、認知症の方が共生できる社会の実現に向けて多職種ができることを共有し、住みやすい地域づくりのためにどのように取り組むべきかを考える場とする。

対象者：一般市民、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、保健・医療・福祉等関連職種  
当事者及びその家族 100名

主催：一般社団法人 栃木県作業療法士会

後援：栃木県、栃木県看護協会、とちぎケアマネジャー協会、栃木県理学療法士会  
栃木県言語聴覚士会、栃木県リハビリテーション専門職協会

開催日時：2023年6月4日(日曜日)

会場：オンライン開催 (ZOOM Cloud Meetings)

日程・内容：

12:30～ 受付

13:00～ 開演

13:10～14:40 第1部 特別講演 「認知症医療のポイント  
～診断と治療、認知症疾患医療センターの役割～」  
講師 佐藤 勇人 氏 (医療法人緑会 佐藤病院院長 医師)

14:40～15:00 休憩

15:00～16:40 第2部 シンポジウム「私たちができること・やるべきこと・協力すること  
～それぞれの立場から地域共生社会の実現に向けて～」

シンポジスト 佐藤 勇人 氏 (医療法人緑会 佐藤病院院長 医師)  
田崎 裕美 氏 (宇都宮市高齢福祉課 保健師)  
友政 真弓 氏

(だいな紫塚居宅介護支援センター ケアマネジャー)

上祐 学 氏 (菅間記念病院 作業療法士)

山田 ちい子 氏 (宇都宮介護者の会)

コーディネーター 関 優樹 氏 (国際医療福祉大学 作業療法士)

16:40 閉会

参加費：無料

申し込み方法：令和5年5月28日(日)までにGoogleフォームにて申込 (ポスター・チラシ参照)

問い合わせ先：第23回とちぎリハビリテーションフォーラム実行委員長 岩瀬 直樹

[所属]新宇都宮リハビリテーション病院

TEL：028-666-4880

Email：rehaforum2021@gmail.com